

「第 4 回なすかしの森ファミリーミーティング
～雪と遊ぼう！雪で遊ぼう！～」報告
平成 31 年 2 月 16 日（土）～17 日（日）1 泊 2 日



【目的・趣旨】

幼少期から中学生期までの体験が多い高校生ほど、思いやり、やる気、人間関係能力等の資質・能力が高いことや、体験が豊富な子供ほど読む本の冊数が多いという割合が高いこと等が、調査研究において明らかになっている。このような調査研究を踏まえ、当施設では、幼児・小学生・中学生を含む家族を対象に、体験活動を通して親子の絆を深める機会を提供する。

第 4 回目は、冬の自然体験をメインとし、那須甲子の雄大な自然を存分に味わってもらえるよう、雪を使ったアクティビティを多く取り入れた。また、参加した子供の年齢層が幅広いことから、どの年齢層にも満足できる体験をしてもらえるようにプログラムを計画した。

【連携先】

・特になし

【募集対象／実績】

《募集対象》 幼児又は小・中学生の子供を含む家族 20 家族 65 名程度

《実績》 69 名参加 大人・・・32 名 子供・・・37 名

【プログラム概要】

【1 日目】平成 31 年 2 月 16 日（土） 天候：雪

12：30 集合・受付 [キビタルーム]

13：00 であいのつどい [キビタルーム]

14：15 雪と遊ぼう！ [施設周辺]

体力別にプログラムを 3 種類用意し、スノーシューハイク、雪遊び、スノーキャンドルづくりを実施した。

17：00 雪上キャンプファイヤー [営火場 B]

18：30 夕食 [食堂レストラン]

19：30 入浴 [浴室]

20：30 スノーキャンドルライトアップ [集いの広場・キビタルーム]

日中に作成したスノーキャンドルにロウソクで火をともした。

22：00 就寝 [各宿泊部屋]

【2 日目】平成 31 年 2 月 17 日（日） 天候：晴れ

07：00 朝のつどい

07：20 朝食

08：45 雪で遊ぼう！ [第 1 スキー場]

そり滑り・チュービングを実施した。

11：00 アンケート記入・ふりかえり [わんぱくルーム]

11：30 わかれのつどい [わんぱくルーム]

12：00 解散

【成果】

- ・雪不足によるプログラムの変更も余儀なくされることが想定されたが、当日は、積雪は十分でなかったものの、予定していたプログラム実施することができた。
- ・対象年齢層が幅広く、プログラムを選択式にして参加者の心身にゆとりのあるよう実施した。その結果、時間に追われることなくプログラムを進行することができた。
- ・雪上キャンプファイヤーや強風が吹き荒れる中のスノーシューハイクなど、日常では体験することのない自然環境の変化に対し、参加者は新鮮味をもち、積極的にプログラムへ参加していた。
- ・運営側のスタッフがボランティアを含めると11名おり、幼児の対応や入浴支援など、参加者へのきめ細やかな対応ができた。
- ・出前事業時にチラシをもらったことで参加を決めた参加者もあり、広報活動の成果が表れている。

《参加者の声》

「ボランティアスタッフが手をつないでくれたり、ちょっとした所で手を貸してくれて助かった。」
「小さい子にも配慮してくださり、活動が楽しめました。」「子ども達が楽しく雪の体験が出来てありがとうございました。」「スキー、雪合戦、雪だるま以外の楽しみ方を知ることができてよかったです。」「初めは家族中心であったが、子どもをきっかけに親子で話げできた。刺激や出会いがあった。」「十分なボランティアの方がいて助かりました。」「人とのふれあい、雪とのふれあいでとても貴重な体験をさせていただきました。」等

【課題と方策】

- ・暴風の場合や荒天時、積雪の状況などの対応策が十分でなかったと感じた。室内プログラムの想定もあらかじめ練っておく必要がある。
- ・雪と遊ぶほうでは、研修指導員の高田先生を講師として招き実施したが、自然観察等の内容は、幼児や低学年には難しく、また、人数も多かったため、どこまでの指導をしてもらいたいのか、などの打ち合わせを入念に行う必要があった。
- ・雪で遊ぶほうでは、そり滑りの会場として第1スキー場を使用したけど、積雪が少なかったため、ソリのスピードが予想以上に出てしまい、危険だった。傾斜の有無にかかわらず、未圧雪の箇所をコースとして設定することで、万が一のリスクを回避できると考える。
- ・ボランティアスタッフが多いことで、運営側の指示が全員に行き届かないことがあった。ボランティアスタッフの中でもリーダーを決めて運営するなどの工夫が必要だと感じた。
- ・参加者とボランティアスタッフが遊ぶ時間（フリータイム）などを設けて、ふれあいのもてる時間があるとボランティアと参加者との距離感がより近づくと感じる。

国立那須甲子青少年自然の家〔作成〕 事業推進係：古谷 洋祐

